

令和4年5月9日

関係者 各位

道東観光開発株式会社

「おーろら」の安全対策・営業運航一部再開について

先般有限会社知床遊覧船所属の小型船にて発生した海難事故につきましては、一刻も早い行方不明の方全員の救助を願いますとともに、犠牲になられましたお客様へ哀悼の意を表します。

弊社が運航しております知床観光船「おーろら」の安全対策等につきまして、ご案内申し上げます。

1 安全対策について

「おーろら」は、全長45.0m、幅10.0m、総トン数491トン、旅客定員390名、乗船乗組員数9名（冬期10名）の旅客船であり、海上運送法上の旅客不定期航路事業として、夏期は知床観光船、冬期は網走流水観光砕氷船の運航をしております。

大型船舶である「おーろら」は、船舶安全法及び船員法等の諸法令の原則的適用がされることにより、船体、機関、安全設備、乗組員及び訓練等について法律上、詳細かつ厳格な規制がなされており、安全に航行できる能力及び人命の安全の保持が図られています。

さらに、弊社としては、諸法令を遵守することはもとより、冬期には流氷帯という厳しい自然環境下での運航をすることも踏まえ、安全管理規程及び運航基準を国土交通省北海道運輸局に届け出の上、特に安全には配慮して運航をしている所存です。

万一の事故に備えても、最大定員を収容できる16艇の膨張式救命いかだ(天幕付)を装備し、年1回以上は救命いかだを実際に使用して総員退船訓練を実施する等の対応をしております。

従いまして、弊社といたしましては、「おーろら」の安全性は確保されており、お客様には安心してご乗船いただけるものと確信しております。

2 営業運航一部再開について

現在「おーろら」は、営業運航を全部中止して捜索活動に当たっておりますが、お客様から再開のご要望もあることから、安全対策を徹底したうえで、令和4年5月20日から営業運航を一部再開させる予定です。なお、営業運航時間外には引き続き捜索活動に協力させていただく予定です。

被害者様全員の救助が完了していない最中での運航再開にはご意見もあろうかと存じますが、諸事情ご賢察のうえ、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上